

事業番号	09 04 35	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜衛生対策事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業	2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産	E-mail	<a href="mailto:enchiku@pref.nagano.lg.jp">enchiku@pref.nagano.lg.jp</a>		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	S26 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

## 1 事業の概要

目指す姿	家畜伝染性疾病に対する危機管理体制を強化するとともに、慢性疾病等のコントロールによる生産性向上及び動物用医薬品の適正使用等により、低コストで安全性を確保した畜産物を安定的に生産できる体制を維持する。					
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際化の進展により、海外からの悪性伝染病の侵入リスクが高まっている。</li> <li>○高品質・低コストな畜産物が求められている。</li> <li>○豚流行性下痢(PED)等の新しい家畜疾病の発生や飼育環境の悪化等による慢性疾病が散発されている。</li> </ul>					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 家畜伝染病予防法、医薬品医療機器等法により県が実施することとなっている。 消費・安全対策交付金要綱・要領				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	<p>家畜伝染病まん延防止対策を徹底するため、防疫演習を実施するとともに、畜産農家データベースを更新し最新情報を集積する。慢性疾病等の疾病調査等を継続的に実施する。動物用医薬品の適正使用の徹底とともに、表示事項等の確認検査のために、店舗巡回を実施する。</p> <p>・防疫演習の実施 1回 ・動物由来感染症調査 300検体 ・家畜衛生情報収集 対象疾病について100%実施 ・動物用医薬品表示事項検査 78店舗 ・畜産農家データベースの整備 対象農場について100%実施</p>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績		H29	
			(当初)	(決算)	(当初)	
	家畜衛生対策事業	直接	慢性疾病の低減等による家畜の生産性向上、動物用医薬品の適正使用の指導、家畜伝染病防疫演習の実施	20,142	19,414	21,039
		合計	20,142	19,414	21,039	

事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	20,999	20,142	21,039				目標	成果	達成状況	
		補正予算	-560									
		合計(A)	20,439	20,142	21,039							
	Aの財源	一般財源	8,116	7,911	7,183	防疫演習の実施	4回	3回	1回	3回	達成	-
		県債	0	0		動物由来感染症調査	341検体	326検体	300検体	322検体	達成	-
		国庫支出金	10,263	9,688	8,559	家畜衛生情報収集	200件	159件	対象疾病について100%実施	対象疾病について100%実施	達成	-
		その他	2,060	2,543	5,297	動物用医薬品表示事項検査	81店舗	88店舗	78店舗	93店舗	達成	-
	決算額(B)	20,791	19,414		畜産農家データベースの整備	対象農場について100%実施	対象農場について100%実施	対象農場について100%実施	対象農場について100%実施	達成	-	
概算人件費	職員数(人)	18.00	18.0	18.00	乳牛1頭当たり生乳量	-	8,848kg	-	8,753kg	-	8,941kg	
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	148,968	142,452	142,452	信州プレミアム牛肉の認定頭数	-	3,242頭	-	3,477頭	-	3,700頭	
		169,759	161,866	163,491								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防疫演習の実施と畜産農家データベースの更新により、伝染病発生時の迅速な対応に備えた。</li> <li>・動物由来感染症調査は、大腸菌O157の検査を実施し、農場レベルで保菌状況を確認し、衛生的な生産衛生管理体制の向上に努めることができた。</li> <li>・家畜衛生情報収集は、対象疾病の発生情報をすべて収集し、県内の発生状況を確認することができた。</li> <li>・畜産農家データベースの整備は、更新が必要な対象農場すべてについて、情報集積できた。</li> </ul>
-------------	--

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防疫演習を実施するとともに、畜産農家データベースを更新し、万が一の家畜伝染病の発生に備える。</li> </ul>